

## JIA 関東甲信越支部長活動報告

2015年2月、3月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

4月10日の支部役員会に支部大会検討委員会の検討案が答申されました。支部役員会では答申案を審議し2016年支部大会の開催が全会一致で決議されました。同時に2016年支部大会実行委員会の設立及び委員の選出が決議されました。今後は実行委員会での議論を基に、さらに支部役員会で議論したいと思います。支部役員が積極的に議論に参加する空気を醸していければ、関東甲信越支部10都県の大きな力になると考えます。支部役員は地域会会員をバックにしながらも、役員個人としての責任と自覚を持ち議論し判断することが重要だと考えています。また、支部役員会での議論や決議を十分理解、共有した地域サミットでの地域会代表との意見交換は、より多角的な視野に基づく成果を得られるものだと考えています。

オリパラ2施設を特例としてDB発注することに関する東京三会との意見交換を踏まえて、3月6日に東京都財務局より回答書が出されました。東京都発注は今後、今まで同様設計施工分離を原則とすると明言し、今回対象となる施設は仮設部分が過半を大きく超える特殊性を持つ点、多くの技術者を擁する東京都だから可能である点、施工と分離した建築士の協力を得ながらプロジェクトを進めていく点、東京三会との意見交換によって課題が浮き彫りになり今後も協議を重ねる必要がある点、などを大きく取り上げています。東京都とは今後も様々な課題について、協議の場を重ねていくことが重要で、その意味で一定の成果が得られたと思います。良い建築やまちづくりのためにJIAが果たす役割は重く、設計業界に限らない多角的な専門家の連携が重要になっています。

#### ■支部大会検討委員会答申書

[http://www.jia-kanto.org/members/jia\\_news/shibutaikai\\_toshin.html](http://www.jia-kanto.org/members/jia_news/shibutaikai_toshin.html)

#### ■具体的な提案書

[http://www.jia-kanto.org/members/jia\\_news/shibutaikai\\_teian.html](http://www.jia-kanto.org/members/jia_news/shibutaikai_teian.html)

#### ■3月6日の東京都回答書

[http://www.jia-kanto.org/members/jia\\_news/jianews0306.html](http://www.jia-kanto.org/members/jia_news/jianews0306.html)

#### ■オリパラ要望書

[http://www.jia-kanto.org/members/jia\\_news/youbousho\\_20150312.html](http://www.jia-kanto.org/members/jia_news/youbousho_20150312.html)

## 支部長活動報告

## 2月

- 3日 建築士会連合会で本部三会メンバーが集まり、千葉大学名誉教授の安藤正雄先生をお呼びして「デザインビルドを巡って」をテーマにご講演頂く場が設けられた。日本型DB=設計施工一貫は長期の成長期の産物と分析した上で、停滞（縮小）期である今、デザインビルドに傾斜する世界的潮流を、アメリカ型ブリッジングと英国型ノベーションを挙げて比較説明いただいた。成長期には発注者が大きな取引リスクを負っていたが、停滞（縮小）期ではデマンドサイドによる市場支配が大きくなっていく。発注者の人格が多様化する今日、良い建築ができるシステムを求めて設計のみならず建築界全体で考えていく必要があると述べられた。
- 6日 7グループによる海外事業活動自主プログラムの報告会がJSBにより開催された。若手建築家及び学生が持つ様々な視点から立案されたプロジェクトが具体化されたものだ。
- 9日 第1回支部大会検討委員会が開催される。2年前、新法人への移行を機に支部に災害対策委員会、環境委員会、建築まちづくり委員会などの新しい委員会が設立された。アーキテクト・ガーデン実行委員会、保存問題委員会、交流委員会、総務委員会、群馬地域会を加えた委員長及び代表を委員として支部大会開催の是非並びに内容の検討を行うため、1月30日支部役員会で設立された。第1回は委員長より支部大会開催の意義や目的、今後のスケジュールについて述べ意見交換する。4月10日の役員会に答申するため2月、3月に計4回の委員会開催を考えている。次回委員会までに、それぞれの委員会がイメージする支部大会のレポート作成をお願いし、群馬地域会には考えられる会場や費用の調査をお願いする。
- 12日 本部総務委員会が開催される。委員会・全国会議体制を表す文書に並びに表について、フェロー会員選考運営マニュアルの確認について、準・協力会員の入会金・会費について、名誉会員選考基準について、就業規則改正について、などを協議・審議する。
- 15日 支部長会議が金沢で開催される。昨年答申された諮問会議報告書を基にJIAのこれからの議論する。
- 18日 第224回理事会が開催される。名誉会員選考基準の改正に際し、フェロー会員と名誉会員の在り方を整理する。フェロー会員は正会員として活躍する者が対象。名誉会員は建築界への貢献度評価をより明確に規定し、非会員でも選出する可能性があり、また正会員を退会しても名誉会員資格は残る。フェロー会員は5~10%程度を想定し、名誉会員は0.5~1%（海外枠を除く）を想定する。準会員・協力会員の会費並びに本部経費

- について、フェロー会員選考運営マニュアルについて、JIA 災害対策会議について、資格制度について、2014年度決算見込み、2015年度予算について、25年賞登録制度について、等。
- 23日 東京都財務局より東京三会对し、東京都発注建築2物件に対する回答書案が提示され、意見を求められる。設計施工分離を堅持してきた東京都がオリパラの2施設を特例としてDB発注を行うことの問題点の指摘や、東京三会同の意見交換による深まった理解など、かなり突っ込んだ内容となっている。東京三会からさらにいくつかの指摘を述べ、ほぼ内容が固まった。明日開催される東京三会建築会議の承認を得た上で、東京都から早急に発信されることになる。
- 24日 昨日、東京都財務局から提示され、東京三会からの指摘を追加した東京都回答書について承認する。告示15号履行の要望など、改正建築士法の普及に向けた三会の協力体制について協議。オリパラへのデザインアドバイザーチーム活用提言について。
- 27日 第2回支部大会検討委員会が開催される。各委員会から出された支部大会イメージについて、大会テーマや大会名称について、群馬地域会から示された会場など具体的な情報について、意見交換する。
- ### 3月
- 4日 建築士会連合会に本部三会並びにBCSメンバーが集まり、「建築プロジェクトの国際比較を中心に日本のモノづくりについて考える」と題して京都大学院古坂秀三先生に講演していただく。日本では設計者が野放しで設計者が自由に決めてしまうことが往々にしてある、日本のゼネコンの請負形態はすでに無理がありマネジメントに特化すべき、など2月の安藤先生同様、国際的な流れの中で日本の設計及び施工の在り方を、特に契約の視点から述べられた。設計と施工は足を引っ張らずに国として考えるべき、という意見はお二人に共通した点だ。
- 6日 午前中に基本法特別委員会が開催される。設計2団体へのアプローチをしており、6月の建築士法改正の前後に勉強会設置の可能性を協議したいと考えている。「建築物設計基本法」ではなく、ストック活用やまちづくりの視点が大事だ。地域サミットが開催される。今回から実験的に会議の途中でバーカウンターを利用したコーヒースタンドを設けた。国内外の国際的な会議では会議の途中でコーヒースタンドが設けられ、ロビー活動も展開される。資格制度について、保存大会について、支部財政について、支部大会について、準会員・協力会員について、等を意見交換する。
- 8日 北関東甲信越課題設計コンクールに参加する。支部事業として成果が上がっており、この実行委員会活動を通して北関東甲信越地域会の連携が

- 進み、活動のモチベーションに大きく寄与している。
- 10日 三栖邦博氏、速水清孝氏を講師に迎え、建築家と建築士の歴史的成り立ちを、今回の建築士法改正を踏まえて語っていただいた。
- 11日 第3回支部大会検討委員会が開催される。委員会として支部役員会へ答申する概要のたたき台を基に意見交換する。建築まちづくり委員会公開セミナーが建築家倶楽部で開催される。まちづくりテラス代表の松本昭先生にご講演頂き、意見交換する。
- 12日 東京オリパラ大会組織委員会から三会に対して意見交換したいとの打診があり、委員会に出向く。組織委員会で整備する大会施設の整備は仮設がほとんどだが、大規模な屋根付施設としては「有明体操場」の整備が唯一となっている。この施設について設計施工一括方式の発注を考慮しており、東京都で採用した一括方式について意見を求められた。本件は税金を使わずスポンサーから頂いた資金で賄うもので、東京都の整備計画との違いはあるものの、今後の東京都の建設発注は設計施工分離を原則とするとした東京都からの回答書の説明を行い、設計施工分離とするよう意見した。
- 13日 本部総務委員会が開催される。委員会規定について委員定数と全国会議委員の選任方法を審議、並びに就業規程、給与規則など事務局運営に関する規程類の改定案を協議、審議する。
- 17日 正副会長会議が開催される。18日理事会議案の整理を行う。社会に対するJIA事業の在り方などを議論する。
- 18日 第225回理事会が開催される。2015年度事業計画及び予算の承認。就業規程の承認。第1回フェロー会員候補者の認定を決議。委員会規定改定では、委員定数を委員長（全国会議議長）含めて13名以内とし、全国会議委員については支部長推薦を前提とした。財務・事業管理委員会を中心に社会に対するJIA事業を考えることとする。
- 19日 東京建築士会専攻建築士審査評議会に出席する。毎年の事ではあるが更新者が少なく、士会としては危機感を持っている。別途有料のCPDの認定制度は評価が高く、好調とのこと。
- 23日 JIA マガジン主催の設計業務シンポジウム開催。小島一浩氏、團紀彦氏、栗生明氏がそれぞれ設計姿勢についての熱い思いを語ってくださる。JIA役員並びに会場からの意見を交えて、次世代が抱える課題をそれぞれの立場で浮き彫りにした。
- 24日 JIA 交流大会が開催される。大変多くの法人協力会員が参加し、意見交換を行った。懇親会には正会員も出席し、盛会な懇親会となった。
- 26日 東京三会建築会議が開催される。オリパラ組織委員会への三会からの要望書を3月17日に出し、基本設計者を決める夏頃までに、より良い施設

- を作るための意見交換を重ねることで合意したとの報告がある。品確法について自民党で勉強会が始まるとの報告がある。6月25日に施行される改正建築士法の講習会を三会共催で複数回開催する。事務所協会が音頭を取って報酬基準に関する要望書を三会で各行政、団体に出す。
- 27日 第4回支部大会検討委員会が開催される。答申案について委員会で協議する。1週間後の常任幹事会にて協議し、その1週間後の支部役員会で審議する予定。
- 30日 JIA-KIT アーカイヴス運営会議が開催される。金沢大会でのシンポジウムについて内容を協議する。出版事業「菊竹学校」についての収支報告があり、若干の黒字となっている。今後の出版事業について協議。



金沢会議

北関東甲信越課題設計コン

交流大会

支部長活動報告 2015年2月+3月

2015年4月16日作成 上浪 寛